

2022年6月 夏 超覚寺報 第52号 【ハーフ屈たより】



◎ 寺子屋サロン(浄土真宗基礎講座)毎月28日 13時半～15時
7/28・8/27・9/28：フリーテーマの座談形式で開催しています。
(6月28日は住職が出張なので休会します)

- ◎ 死別の分かちあいの集い：13時～15時
 - ・夫を亡くした方：毎月第1土曜日(7/2・8/6・9/3・10/1)
 - ・自死遺族の方：毎月最終土曜日(6/25・7/30・8/27・9/24)
当事者の方々分かちあいの集いです。住職も時々参加します。
- ◎ 体操教室・整体教室・水引教室・寺ヨガ教室・ようこそ相談会
毎月開催していますが、曜日を固定していないので、境内墓地側の掲示板をご覧いただくな、お寺までお問い合わせください。

◇ 寺院護持費(墓地管理費)について

例年、原爆の日やお盆の時期にお納めいただく方が多く、
玄関が混み合います。お振り込みもどうぞご利用ください。

【ゆうちよ銀行 15190-55770601】

他金融機関からゆうちょ銀行へ振り込まれる際は、
次のように入力してください。

【名義】チヨウカクジ

【店名】五一八(読み ゴイチハチ)

【店番】518 (普通預金) 5577060

◇ 報告・連絡・“僧”談

今年もお寺の池にカエルが戻ってきています。7匹まで確認しました。蚊や蛾などを食べてくれているなら助かるなあと思っています。オタマジャクシも相当数が繁殖しています。こっちは藻や水草を食べているようです。メダカも数種類いて大きくなっています。小さいメダカがまだないので、もししかしたらオタマジャクシに卵を食べられているのかかもしれません。この池の中の小さな世界をボーッと観ているだけです。

発行人：超覚寺住職 和田隆彦 (糸隆恩) (*—人) 合掌

RIN-O-ZAN OKU-ZEI-IN CHO-KAKU-JI
〔since 1613年(元和5年)〕

〒730-0013 広島県広島市中区ハーブ堀 5-2
Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113
Mail : wada@namuamidabutsu.com

HP : <http://www.namuamidabutsu.com>
<http://mytera.jp/tera/48chokakuji>

超覚寺 夏の法要 のお知らせ

② 4/8:釈尊降誕会

4月1日から花御堂(はなみどう)を設置しました。甘茶を入れた器の中に誕生仏(生まれたてのお釈迦さまのお姿)が立っていて、そこに甘茶を掛けます。動作を伴う行が少ない浄土真宗では、誕生仏への甘茶掛けは稀有な儀式作法になります。

花御堂は、普通は本堂の中や入口に置かれますが、超覚寺では門の外に設置しているので、通勤通学の方々も楽しそうにお参りくださいました。

◎ 原爆の日の法要

8月6日(土) 8時15分 広島原爆の日 一分間黙祷

原爆死没者追弔会(住職のみ)

8月9日(火) 11時02分 長崎原爆の日 一分間黙祷

8/6に広島市内の各宗派の僧侶が平和公園の原爆供養塔(無縁の御遺骨を納めている)の前で法要を勤めます。

◎ 孟蘭盆会(戦争死没者追弔会)の法要

8月14~16日(日・月・火) 10時~10時30分
ご先祖さまを敬い、わが身の四苦八苦の問題を見つめ直すご縁にしましょう。
※お盆・初盆の誦経は、希望日時が重なりやすいので早めにご連絡ください。
※お盆期間中、本堂を開放しております。どうぞ阿弥陀如来にお参りください。
※広島県南部の伝統供物【盆燈籠】は、以前は禁止していましたが、今は墓石の周りにお供えできます。超覚寺では墓参礼・墓花・お線香のみ販売しておりますので、盆燈籠は他のお店でご購入、ご持参ください。

※ 境内の駐車場は7台まで、満車の際は近所のパークィングをご利用ください。
※ 8/18以降に業者さんが墓地を清掃し、墓参礼・墓花・盆燈籠を片付けます。
超覚寺オリジナル墓参礼↑
※ お寺までお参りできない方は、住職が代行でお参りいたします。
オンラインでのお参りもできます。

墓花・盆燈籠・墓参礼もお供えいたしますので、どうぞご連絡ください。

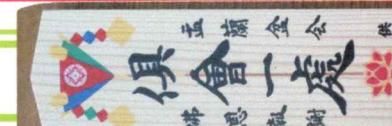
今年は、御門徒さん手作りの水引細工とお寺の掲示板の写真をコラボした祭を200枚作り自由にお持ち帰り頂きました。

また、甘茶の器にお賽銭される方も例年以上に多くて、とても有り難いことでした。盜難を心配されますが、人通りの多さのおかげか、その様な事態は全くありませんでした。

◇ マツダスタジアム観戦チケット

今年はカープ団体観戦を約30試合ほど予約を申し込みましたが、そのほとんどが当選し、計320枚ゲットしました。それだけ捌けるか心配していましたが、開幕ダッシュのおかげで、ほとんどが売れました。パ・リーグとの交流戦は残念でしたが、復活を期して応援しましょう。まだ下記の試合のチケットが残っていますので、ご希望の方はどうぞ連絡ください。

- ・7/2(土) 巨人戦スカイシート (3,300円) 5枚
- ・7/18(祝) 阪神戦! 墓内野席 (3,900円) 2枚
- ・8/6(土) 阪神戦スカイシート (3,300円) 5枚
- ・8/7(日) 阪神戦スカイシート (3,300円) 6枚
- ・8/7(日) 阪神戦! 墓内野席 (3,900円) 5枚
- ・8/28(日) 巨人戦スカイシート (3,300円) 4枚



◇ “寺”後報告

◎ 秋季彼岸会(永代経)法要



9月17日(土) 13時～ 勤行：住職

13時30分～15時30分(茶菓子休憩有)

法話：瓜生崇師(滋賀県東近江市玄照寺)

大袈裟でなく、日本一法話をしているお坊さんだと思います。東本願寺の僧侶なのに、西本願寺の布教使の講師も務められています。淨土宗寺院でもお話をされます。実はこの日こっそり聴きに来ているお坊さんが幾人もいます。決して易しくないですが、聴き応えは充分です。

◎ 報恩講法要

11月5日(土) 10時～12時

法話：小山興圓師(愛知県安城市本證寺)

勤行：住職・市内住職出仕

僧侶養成学校同期の小山先生のお寺は、戦国時代に重要な役目をされたそうです。2023年の大河ドラマ「どうする家康」にも登場しますので、その辺りの話題もお聞きしようと思います。

◎ 第4回 納涼落語会 10月中(法要はありません)

毎年マルチタレンツ中島尚樹さん・上恵津子さん夫妻や広テレ森ア+ウォンサーにご登壇頂きますが、昨年はコロナ禍のため中止になりました。今年は開催する方向で中島さんと打合せしています。詳細は次号の「ハーツ堀だより」にてお知らせします。

◇ 「お葬式にあたり」

住職を継職した10年前にお葬式用のパンフレットを作製し、お通夜で参詣の方々にお配りしていました。コロナ禍を経てお葬式事情も変容しているので、内容を見直しました。同封した現物をご覧いただき、気になる点やご感想をお教え頂ければ有難いです。



← 5/15、祖父江先生のお寺に招かれて、私も高座説教をお勤めいたしました。

☆「…させていただく」

文化審議会が「敬語の指針」をまとめたのは2007年のことだ。乱用が目立っていた「させていただく」という表現について、相手の許可を受ける場合でなければ、不適切になると説明した◆15年たった今、この使い方はさらに増殖し、言語学者の椎名美智さんによれば「させていただくブルーム」だそうだ。コミュニケーションの様式や距離感が変化し、相手に直接敬意を示すより、自分の丁寧さを示すスタイルが好まれるようになったという◆政界でも頻繁に聞く。国会審議では「質問にお答えさせさせていただきます」と始まり、質問に答えたくないときは「お答えを差し控えさせさせていただきます」が常套句になっている。真意はさておき、謙虚さを演出するには効果的な言葉なのだろう◆ちょっと気になる使い方も耳にした。岸田首相が先月の選挙応援演説で「新しい資本主義」という経済政策を打ち出させています」と話していた。丁寧で謙虚な政治を心がける首相らしいが、適切な使い方ではなさそうだ◆今年の夏は参院選がある。そろそろ政策の中身を聞かせいただきたい。あつ、これは？（2022/5/6読売新聞編集手帳）

「…させていただく」は、【させて許可を得る】と【いただく：恩恵を受ける「もらう」の敬語】が組み合わされた語法で、「あなたを意識して配慮しています」というメッセージが込められている。作家の司馬遼太郎によると、この語法は浄土真宗の教義上から出たもので、他宗には思想としても言いまわしても無いとのこと。真宗においては、全て阿弥陀如来（=他力）によって生かしていただいている。三度の食事も阿弥陀如来のお蔭で美味しいいただき、家族もろとも息災に過ごさせていただき、時にはお寺でお説教を聞かせていただき、家まで無事に帰らせいただき、夜は9時に寝かせていただき。この語法は、絶対他力を想定してしか成立しない。ア

、それによって「お蔭」が成立し、「お蔭さま」という観念があればこそ、「広電でハ丁堀電停まで行かせて頂きました」などと言えるのだ。相手のお金で乗ったわけではない。自分の足とお金で広島電鉄に乗ったのに、「頂きました」などと言うのは、他力への信仰が存在するためである。もとも今は語法だけになっている。

これを広めたのは昔の近江（滋賀県）商人で、彼らは近江門徒でもあったので、行商に出かける際には、御本尊の阿弥陀如来の小さな掛け軸を荷物の上に置き、宿に着いたら御本尊を床の間にお掛けして、朝夕のお勤めをしていた。伊藤忠商事創業者の伊藤忠兵衛は滋賀県出身の熱心な真宗門徒で、「如來さまの前で開けられないので帳面はつけるな」「他の全てを失っても、本当のお念佛の味・有難さだけは忘れることがないように」と常々言われたそうだ。商いの心得として、売り手と買い手の間に阿弥陀如来の存在を想定し、商いは阿弥陀如来に「させて頂いている」。品物は阿弥陀如来を通じてお客様に渡り、代金は阿弥陀如来を通じてお客様から頂くと受け止めていた。全国で商いをする場合も得意先でつい門徒語法が出た、「かしこになりました。それでは明日の3時に届けさせて頂きます」という風に。この語法は、とくに昭和になってから東京に浸透したようだ。

近江商人といえば、「三方よし：売り手よし・買い手よし・世間よし」が有名だが、「世間 = おかげさま = 如來さま」と連想できるなら、自分は世間に許されて生かされているのだと気づくだろう。最近もてはやされるSDGs（持続可能な開発目標）も「世間よし」の相似形だと言えるが、資本主義の行き過ぎを是正する手段が、仏教的な価値観と似ているというのも面白い。

私は自分の意志で脱サラし超覚寺に入ったつもりだったが、今となつては、「僧侶に成らせて頂いた」「超覚寺住職をさせて頂いている」という想いだけである。 仏さま、皆さま、ありがとうございます。